

令和7年度 教学マネジメントに関するFD・SD研修

研修名

「モデルカリキュラムの構想とデータの活用～カリキュラム改善に向けての視点の獲得～」

主催

教学入試戦略推進本部

日時

令和8年2月17日（火）14時30分～16時30分

会場

和歌山大学栄谷キャンパス（対面開催）

参加者

参加者：21名（うち教員16名、職員5名）

参加率：100%※

※各学部・学環等のカリキュラム関係教職員を指定して参加依頼を行ったため

研修の概要

近畿大学 IR・教育支援センターの竹中喜一准教授に來学いただき、令和7年7月の研修に引き続き、各学部・学環等の大学教務委員会委員、教学マネジメント委員会委員、カリキュラム関係教職員を対象に、「モデルカリキュラムの構想とデータの活用～カリキュラム改善に向けての視点の獲得～」をテーマとした研修を対面で行いました。

竹中先生からは、学修者本位の教育を実現するため、3つのポリシーを基点とした体系的なカリキュラムの必要性について説明があり、体系的なカリキュラムの開発にあたっては開設する授業科目のスコープとシーケンスを考慮する必要があること、それらを可視化するツールとしてアセスメントプランに明示されるカリキュラムマップやツリー、ナンバリング、各授業科目のシラバス、アンケート等のデータを活用し、3つのポリシーの充足度を確認すること、そのうえで、データ活用の限界にも留意しつつ、データを活用しながらあるべき姿と現状のギャップを埋めるべく、カリキュラムの構成要素のどの部分について改善が必要かを考えることについて説明がありました。

竹中先生の講義を受けて、各学部・学環の出席者でカリキュラムの改善に向けてのグループワークを行い、各学部・学環で議論を行った内容について発表を行い、最後に竹中先生から講評をいただき終了しました。和歌山大学では今後も継続して教学マネジメントに関するFD・SD活動に取り組んでいく予定です。

研修の様子



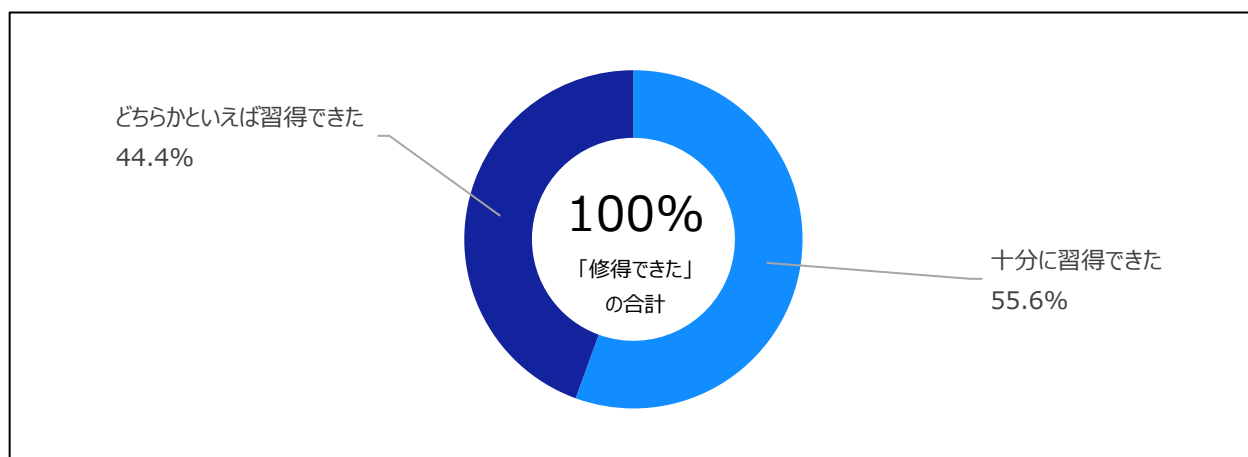
開催後アンケート結果

回答率 42.9% (参加者 21 名中 9 名回答)

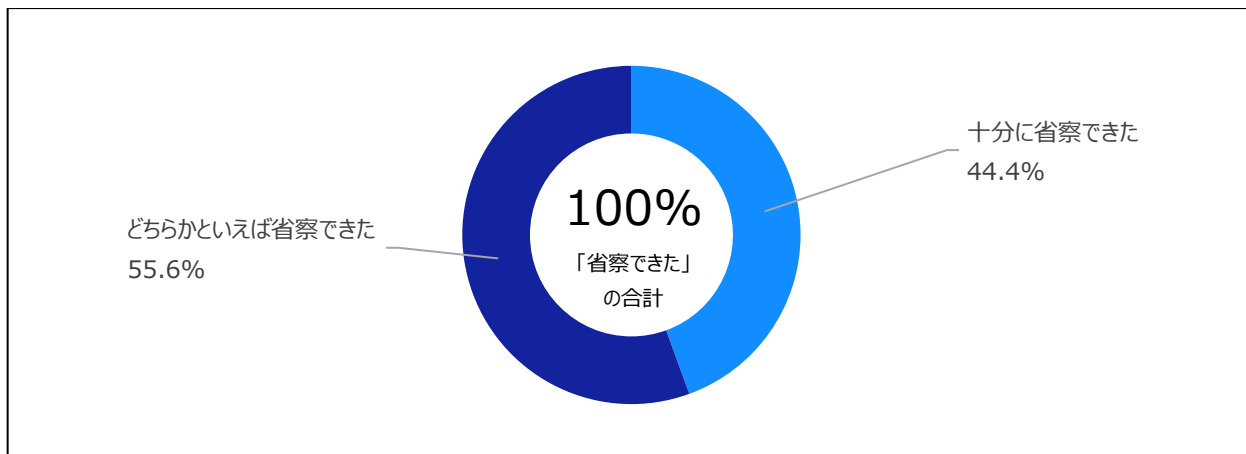
(1) 回答者の属性

教員 7 名、職員 2 名

(2) 学部・学環等のカリキュラム開発担当者（カリキュラム関係教職員）として必要な知識が習得できましたか。



(3) 今回の研修を通して、自学部（学環）のカリキュラムの特徴と課題を省察できましたか。



(4) 今回の研修を通して、自学部（学環）のカリキュラムの課題解決に向けて見通しが持てましたか。

